

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和2年 3月 1日

事業所名 児童発達支援 OKプラネット 保護者等数43 <児童数44（1組双子）> 回収数 43 割合 100%

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	9		1	1		・法令に準じたスペースの確保をしております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	36	2	1	4		・STやOTの個別を受けた際に、フィードバックがSTやOTの先生からない場合があります、せっかく専門の先生なので、話す機会がもう少しあったらよいです。	・毎回の指導終了時には、原則、保護者の方にフィードバックをしております。 ・感覚統合指導で記入して頂いたアセスメントツールの結果を出すのに時間がかかるため、報告書をお渡し、お話しするのが後日になっております。今後、検討していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33	8	0	2			・狭い場所なのですべてのバリアフリーは難しいですが、安全な空間を考えていきます。 ・構造化への配慮を続けていきます。 ・情報伝達のボードの位置等 検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	40	1	1	1		・少し寒い	・子ども達の様子を見ながら、室温も含めて過ごしやすい環境を整えていきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	40	1		2			・話せる子は子どもとの対話から、また子どもの喜ぶ様子、嫌がる様子などの観察から子どものニーズを把握します。 ・保護者とも密に関わりを持ちながら、ニーズや課題の把握に努めます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	4		9			・家庭、地域の視点も入れて、各自の子どもの状況に合わせて支援計画を作成し、支援内容についても保護者に分かりやすい説明ができるように心掛けていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	36	5		2			・計画に沿った支援が出来るように、保護者への説明をより丁寧にしていきます。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	31	7		5		・まだ通って2ヶ月なのでよくわからない。	・ミーティング等でプログラムは確認、検討しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	6	12	12	1	・まだ通って2ヶ月なのでよくわからない。 ・来所するようになってまだ一月なのでわからない。	・年長児には、NPO法人I am OKの会主催の野外活動等に参加していただいています。今後も機会を作っていきます。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	4		3			・契約時等より丁寧に分かりやすい説明を心がけます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	34	2		7			・今後もガイドラインの周知に努めていきます。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	25	6	3	9		・以前はあったが最近はない。	・昨年度6回コースのペアレントトレーニングを計画しましたが、通所の保護者は希望なしで外部参加者で実施しました。 ・所内相談を利用して個別には、ペアレントトレーニングの視点を入れての相談をしました。 ・家族支援プログラムの導入をどのような形で行うと参加しやすいのかを検討していきます。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	33	7	1	2			・保護者との信頼関係を築き、より良い共通理解の方法を検討していきます。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	7	2	2	1	来所するようになってまだ一月なのでわからない。	・半年毎にモニタリング面接を行い、ご要望等をお聞きしています。 ・時間を取ってゆっくり相談できるように、所内相談をお勧めしています。 ・職員間で共通認識、統一した対応が取れるように努力します。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	7	8	14		・来所するようになってまだ一月なのでわからない。 ・まだ入所したばかりですので、これからと思います。	・行事等には保護者も参加できるような企画をしています。 ・保護者に企画内容について希望アンケートをとります ・今後も保護者の対象の親子プログラムの内容検討および利用を勧めていきます。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	6	1	5			・保護者の方が相談しやすいような雰囲気、体制作りを検討していきます。 ・今後も迅速、丁寧に対応していきます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	35	6		2			・来所時に、保護者の方から健康状態を確認するようにしています。 ・指導の終了時にフィードバックをして、また当日の記録を通して状況をお伝えしています。 ・また入口にご意見ポストを設置しています。 ・今後、所内相談(子育て相談)を利用しやすいように検討します。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	32	4		7		・あまり注意していないため分からない。	・今後も毎年、自己評価の結果をおたよりやホームページで発信していきます。 ・ホームページの紹介をしていきます。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	34	3		6			・契約時、個人情報の取り扱いの説明と同意を得ていますが、今後も十分注意していきます。 ・メールも個人情報に注意して配信します。	
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	31	4		8			各種マニュアルは作成してあるので、今後は保護者への周知を考えていきます。
		21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36	1		5	1	・避難訓練しかまだ知らないため。	・年1回、各クラスで避難訓練をしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	32	10		1		・たまに行きたがらない時もありますが、これからと思います。	・引き続き、努力していきます。	
	23	事業所の支援に満足しているか	33	7	1	2		・相談に乗ってもらい、子供の成長を考えてくれてとても感謝している。	・定期的に保護者面談をしながら、ご意見をお聞きして、満足してもらえるように努力します。	

事業所の職員における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月1日

事業所名 児童発達支援 OKプラネット 講師以外の職員11名回答

チェック項目		はい	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11			法令に準じた確保をしています。場所が限られているので、パーティションを使用したり、使用しないものを別室に移動したり、また人数の多いグループは2部屋に分けるなど考慮しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	11			子どもの特性や状況に応じるために、最低人員に加えて1名以上(専門職員として、保育士、児童指導員等)を配置しています。	子どもの状況に合わせて対応できるように、担当職員以外にもすぐに協力できる体制を作ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・空間づくりは子どもが活動に集中できるように、視野に余分なものが入らぬようレイアウトしています。 ・また、急変時対応できるように呼び出しブザー等も付けています。 ・プレイルームはパーティションで区切り、活動内容に合わせて、構造化や広さの調整を行っています。また、必要に応じてクールダウンのスペースとして別室が使用できるように配慮しています。 ・絵カードを並べて手順やスケジュール表を用いています。 ・時計やタイマーを活用。子どもが触れたがるスイッチや道具等は覆いをして刺激を減らしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口周辺の掲示物を移動して、玄関からの入室時に気が散らないような環境作り、また子どもが外に飛び出さないような配慮をします。 ・子どもが活動により集中できるよう、わかりやすく安全に動けるように検討しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			<ul style="list-style-type: none"> ・清潔に留意して、毎日の清掃をチェック徹底。水回り掃除確認と、定期的な遊具の消毒は必須としています。 ・また子ども達の活動内容にあわせて、子どもの気分がそれないように、パーティションを開閉する等、環境を整えています。 	
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・月に一回のミーティングで、PDCAサイクルで問題点を話し合っています。 ・また、年間目標と計画を立て、年度末に業務反省をして、評価、記録しています。 ・日々の活動の後は必ずカンファレンスで振り返って、次回につながる時間にしていきます。 	年度途中から就労したスタッフへの情報共有を徹底するようにします。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			・モニタリングを通して、および今回の評価表や終了者の御意見を参考にして、改善に努めています。	保護者がおっしゃった意見 課題は小さなものでもノートに記録。スタッフ全員で情報共有します。

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			・今までは、利用終了者にご意見を書いてもらっていましたが、今年度から自己評価表の結果を3月のお便り、4月のホームページに公開しています。	今後もおたより掲載で個別配布、およびホームページにも掲載していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	3	・現在はありません。	来年度検討予定です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			・年間外部研修に、多くの職員が参加しています。また、区内の事例検討会に事例を発表して助言をもらっています。 ・今年度は、講師を呼んで年2回実施しました。(グループ運営と感覚統合)	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10		1	・半年毎に、主に担当が保護者との面談で評価および課題を話し合い、次期計画作成をしています。さまざまな領域の専門職の意見を聞いて作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11			・個別指導では、遠城寺検査法やNCプログラムのアセスメントツールを、感覚統合指導では、JSI-Rを、言語指導ではLGスケール、新版構音検査、質問一応答関係検査を使用しています。希望者にWISC-IVを実施しています。	杉並区相談係では、新版K式発達検査、田中ビネー知能検査ツールを使っています。今後は検査用具を購入し、所内でも検査する予定
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		3	・一人一人の子が、家庭の中で、通園先で、地域の中で安定して生活できることを目標に、支援計画を立てています。 ・家族支援に注目し、「父親講座」を年に数回実施。区役所との密な連絡、子が所属する保育園幼稚園との訪問、電話による情報交換に努めています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11			・ミーティングやカンファレンスで課題、支援の共有化を図っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11			・グループリーダーが企画を考え、当日の指導員が打ち合わせ時、協議してプログラムを決めています。	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			・子どもの発達に合わせて、プログラムを修正したり、変化をつけたり、季節感を入れたりしています。 ・毎週違った活動内容で行い、日々の振り返りで反省点は次回に生かせるように話し合っています。		

16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	11			・個別指導を希望される方が多いので対応しています。課題によっては個別指導と組み合わせています。集団指導で十分行えないところを、個別指導でフォローすることもあります。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11			・朝礼時やグループ開始前に、支援内容の打ち合わせをしています。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11			・グループ終了後、カンファレンスをして振り返り、その日の流れ、個々の状態や全体内容等共有して、評価・記録をしています。 ・また能率よく進行できるように、タイマーをかけたたりして工夫しています。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			・グループおよび個人ファイルに記録して、検証・改善に努めています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11			半年毎に、担当者が保護者と面談して状況を聞きとり、成長を評価し、支援計画の見直しをしています。	